

17. 婦人科疾患患者への退院指導を考える — アンケート調査を試みて —

2階西病棟

○片岡順子 吉岡寿美
浜口典子 松岡美奈恵

I はじめに

今日心身医学の発展の中で子宮摘出を受けた患者の心理的、精神的、性的変調についての調査研究は、看護婦のみでなく医療関係者の多くが行っている。その中で、子宮摘出後、仮面うつ病、不安神経症、心因性自律神経失調症などが発生しているとの報告もされている。又、子宮に対するイメージは、個人により差異があり、手術前後を通しての心理面への援助方法のあり方を示唆している。従って婦人科においては、退院指導の中に、術後の指導と共に、個人がとらえている性をふまえた指導が必要となる。

しかし、当病棟では、退院指導が個別に実施されていないのが現状である。その為に、退院した患者に退院後の心理、生活状況をアンケート調査し、今後の退院時の援助のあり方について考察したので、報告する。

II 研究目的

女性生殖器の摘出を受けた患者の心理と退院後の生活状態を知ることにより、退院時における社会復帰への不安を除去し、女性生殖器を摘出した患者の退院指導のあり方を考える。

III 調査対象とその方法

昭和58年1月～10月までの期間に当院で、腹式子宮全摘出術、又は、附属器摘出術を受けた患者67名を対象に、昭和58年11月27～12月5日の期間、多項目選択式と自由記載法を併用した質問紙の郵送を行った。

回収率は67名中56名、85%。その対象の内訳は、子宮摘出が2名、子宮と両側卵巣摘出は44名、子宮と片側卵巣摘出は6名、卵巣摘出4名である。

(詳しいアンケート内容は資料を参照)

尚、ここでは、退院指導の方法、術後の身体症状及び心理面、性生活にポイントをおき述べることにする。

IV 結果・考察

退院指導をするにあたって、その方法は、家族を含めての説明が必要かとの問いに対してグラフ④のとおり、必要だと答えたのは、56名中39名69.6%の者が希望している。理由としては、「家族の協力が得られず、十分な家庭療養ができない為」が、大半を占め、次いで「家族を心配させない為には、術後経過、手術創(腹部と陰部)の縫合状態などについての説明が、患者自身では不十分な為、直接医師から説明を聞いた方がよい」など、性生活への不安も上げられている。

当病棟では、術後2週間で退院となるケースが殆んどであり、十分に身体が回復していないこと、家族の中心的立場にあることから家族の協力が充分でない場合は、家事による負担が大きいと思われる。又、夫の協力や理解がなければ、性生活面での不安が増加する。患者自身、生殖器を失ったことで受けた精神的打撃を、家族全員でいたわり合える環境作りを望んでいるようである。

次に、卵巢欠落症状と術式の関係では、両側卵巢摘出者は、身体症状(腰痛、肩こり、冷感など)と同様に、血管運動神経症、精神症状及び神経症状(熱感、頭痛、顔面紅潮など)が多く、子宮及び片側卵巢摘出者も、その殆んどが身体症状を訴えていた。

塚原は¹⁾、子宮及び片側卵巢摘出者においては、内分泌の変化は、正常婦人のそれらと差がないのにもかかわらず、術後の不定愁訴が見られ、子宮及び両側卵巢摘出者においては、内分泌環境の急変という要因の上に、子宮と卵巢全てを失ったことによる女性喪失感が、心因として重なり術後不定愁訴が著しく多いと報告しており、これは今回のアンケート結果でも同様のことが言える。

心理面では、「女性でなくなった」56名中28名50%が答えており、性器を失うことにより女性の喪失感を訴えている。又、性生活面では、グラフ⑥のとおり、性感の減退は56名中16名28.6%、性欲減退はグラフ⑤のとおり56

名中 21 名 37.5 %であった。摘出した臓器に対する考え方により、答えは大きく変わってくるが、解答者の中には、「絶対子宮を摘るべきではなかった」、又、「離婚したい」と答えた者もあり、多くの者が、やはり性器が女性の象徴であると考えているようである。そして、夫の愛情喪失は、退院後におこる夫婦間の葛藤を引き起こし、患者の心理面での変化が、性的変調の大きな要因であるとも考えられる。

以上の結果により、私達が退院指導を行う上で、最も念頭においておかなければならないのは、

- ① 個人における子宮に対する考え方
- ② 正しい情報の提供
- ③ 術後におこる身体的、精神的変化について受容させる。
- ④ 家族を含めた退院指導であるとする。

V おわりに

今回の退院指導後のアンケートは、私達に指導の必要性を再認識させてくれたと思われる。現在作製している退院指導では、患者の不安を除去するには不十分であり、今後更に個別的な指導を目指し努力していきたい。

引用・参考文献

- 1) 塚田一郎：婦人科術後の不定愁訴，産婦人科MOOK，3，1978，227～233
- 2) ナンシー F，ウッズ：性を知る，ヘルスケアの立場から，日本看護協会出版会，1978.
- 3) 太田美和子他：内性器切除術がもたらす心身の変化，京滋母性衛生学会雑誌，3，1，1982.
- 4) 吉田千鶴子：子宮摘出患者への退院指導の実際（アンケート調査の結果と指導の実際）7，12，1981.
- 5) 南野知恵子：術後患者の援助，助産婦雑誌，34，11，1980.
- 6) 馬島季磨：子宮摘出の及ぼす精神的・性的影響，49，1，1983.
- 7) 加藤喜市他：性器の手術と機能保存をめぐる，日本母性衛生学会，24，34，1983.

資料

退院後アンケート

- a あなたはどのような手術をされましたか。
① 子宮をとった ② 卵巣をとった(片方・両方) ③ 子宮と卵巣をとった
- b 退院時、退院後の生活についての説明を誰から受けましたか。
()
- c 説明を受けた場所はどこでしたか。
① 病室 ② 処置室 ③ 面談室 ④ その他()
- d どのような状況で説明を受けたかったですか。
① 医師と看護婦同時に ② 医師と看護婦それぞれに
③ その他()
- e 自分だけでなく家族を含めて説明が必要だと思いますか。
① はい ② いいえ
その理由()

〔1〕退院後の生活一般について

- a 退院後、身体に変調があった場合どうされましたか。
① 特に変調はなかった
② 病院にすぐ連絡をとった
③ 薬局などに相談し薬を飲んだ
④ 知人などに相談した
⑤ 当然のことと思い、そのまま放置した
⑥ どうしてよいかわからず、そのまま様子を見た
⑦ その他()
- b 退院後の家事は誰が行いましたか。
① 自分 ② 母親 ③ 子供 ④ その他()
- c 炊事はいつ頃から始められましたか。()
- d 洗濯はいつ頃から始められましたか。()
- e そうじはいつ頃から始められましたか。()

f 自動車・自転車・バイクなどは、いつ頃から乗られましたか。

()

g 仕事はいつ頃から始められましたか。

() 職種()

h 以上のことについて説明を受けたのは誰ですか。

① 医師 ② 看護婦 ③ 知人 ④ 自分の判断

⑤ その他()

[2] 清潔について

a 入浴回数・洗髪回数はどうですか。

① 徐々に退院前に戻していった

② すぐに退院前と同じにした

b 帯下(おりもの)の量について退院後はどうでしたか。

① 多いので気になる

② 茶色のものが長期見られるので気になる

③ 正常だと思う

④ その他()

c 外陰部(おしも)の清潔で注意していることがあれば記入して下さい。

()

d 入浴時・洗髪時気になった事、不安だった事があれば記入して下さい。

(例) 菌が入るのではないか。

()

[3] 創の取り扱いについて

a 退院後も腹帯を着用されていますか。

① はい ② いいえ

「いいえ」と答えられた方は、いつ頃まで着用されていましたか。

()

b 傷が出来たことで不安に思ったり、心配されたことはありませんか。

① 傷が開くのではないか

- ② 外見的にみにくいと思った
- ③ いつまでも痛んだり、つっぱったりするのではないか
- ④ 入浴できるだろうか
- ⑤ 荷物を持ったり、その上げおろしができるだろうか
- ⑥ 特になし
- ⑦ その他()

〔4〕 排泄について

- a 毎日規則正しく排便がありますか。
 - ① はい ② いいえ
- b 排便時、下腹部に力が入り傷が痛むことがありますか。
 - ① はい ② いいえ
- c 規則正しい便通のために、心がけていることがあれば記入して下さい。
()
- d 排便時、性器出血がおこったことがありますか。
 - ① はい ② いいえ
- e 排尿回数は多くなっていませんか。
 - ① はい ② いいえ
- f 排尿時、膀胱が痛むことはありませんか。
 - ① はい ② いいえ
- g 排尿後もすっきりせず、尿がたまった感じがすることはありますか。
 - ① はい ② いいえ
- h お茶やお水を努めて飲まないでと排尿が順調でなくなることはありませんか。
 - ① はい ② いいえ

〔5〕 夫婦生活について

- a 今後の性生活について退院時、不安や心配はありませんでしたか。
 - ① 非常にあった ② 少しあった ③ 全くなかった
- b 「あった」と答えられた方は、その不安や心配はどのようなことですか。
 - ① 性生活はできないのではないか

② 夫が自分を女性と見てくれないのではないか

③ 傷口に悪い影響を与えるのではないか

④ 性交時痛みが強いのではないか

⑤ その他()

c 手術後、性生活面で良かったと思われることがあれば記入して下さい。

(例) 避妊の必要がなくなった

① 特になし

② ある 理由()

d 手術前とくらべて性欲に変化はありますか。

① 亢進した ② 減退した ③ 変化なし

④ その他()

e 手術前とくらべて性感に変化はありますか。

① 亢進した ② 減退した ③ 変化なし

④ その他()

[6] 卵巣欠落症状について

a 症状には次のようなものがありますが、最も強くあらわれたものから順に番号を記入して下さい。

() 顔面紅潮

() 体熱感

() 動悸

() 逆上感

() 冷感

() 発汗

() 頭痛

() 頭重感

() めまい

() 肩こり

() 腰痛

() 肥満傾向

その他() おこらなかった

[7] 手術をされて、精神面で感じることを下記の中から選び、最も強く感じるものから順に番号を記入して下さい。

() 女性でなくなった気がする

() 月経がなくなりサッパリした

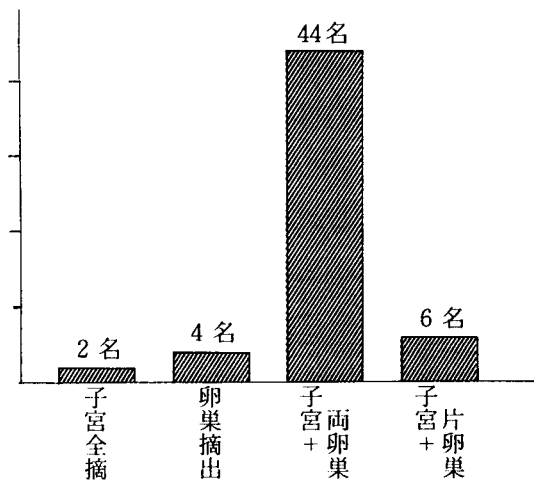
() 避妊の心配がなくなり、性生活が楽になった

() 子供が産めなくなる淋しさがあつた

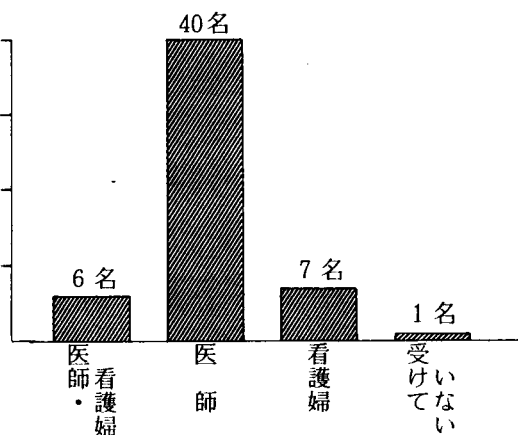
- () 夫にすまないと思った
- () 若さや活力が失われていくと思った
- () 癌になる心配がなくなった
- () 未婚の方は結婚に対する不安が大きくなった
- その他()

お忙しい中、沢山のアンケートにお答えいただきありがとうございます。
ございました。皆様のご健康をお祈り申し上げます。

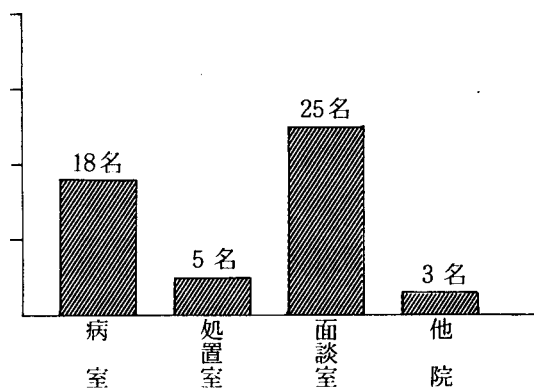
アンケート調査結果



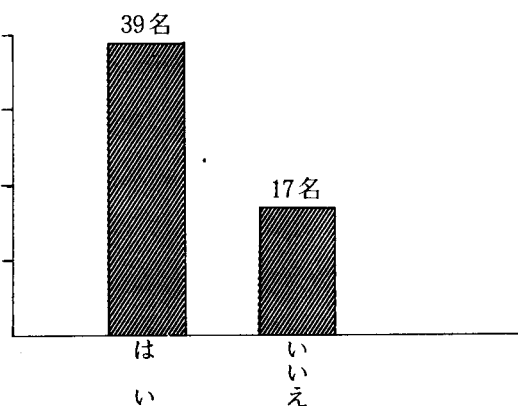
① ▲手術内容



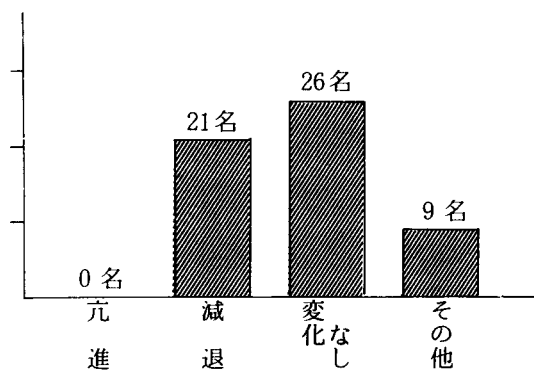
② ▲退院指導を施行した人



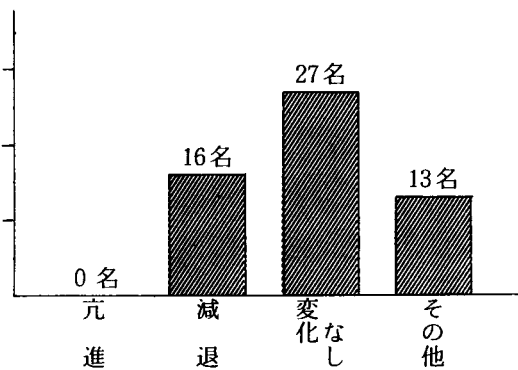
③ ▲退院指導を受けた場所



④ ▲家族を含む指導の賛否



⑤ ▲性欲の変化



⑥ ▲性感の変化

⑦ ▼心理面

